

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川太田川水系榎川支川11外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bor-10	調査位置	広島県安芸郡府中町山田四丁目外			北緯	34° 23' 49.6119"			
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	令和3年 1月21日～ 令和3年 1月26日			東経	132° 31' 37.7985"	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者			ボーリング責任者		
孔口標高	TP 125.49m	角	180° 上 90° 下 0°	方	0°北 270°西 0°東 90°南	地盤勾配	7° 水平 鉛直 0° 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D-0C
総削孔長	5.00m	度	0°	向	180°	エンジン	ヤンマー NFD12		ポンプ	東邦地下工機BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取		室内試験	削孔月日
											深度—N値図						深度	試料番号		
1	124.69	0.80	塊混り砂	砂	暗褐				未固結の塊混り砂。径5～50mm前後の角礫を混入。やや粘性を帯びる。未固結の砂からなる。砂分は粗粒砂が優勢。深度1.4m以深、角礫が点在。径30mm前後。	1/25 1.90	1.15	1	2	2	5					
2	123.24	2.25	砂		灰	rd2					1.45	6	18	22	46					
3	122.49	3.00	強風化花崗岩		淡褐灰				花崗岩の強風化部。岩組織を残すが、岩芯まで風化が進行する。		2.45	50			50	100				
4			花崗岩		淡灰				花崗岩(軟岩)。岩組織を明確に識す。全体に亀裂が発達する。片状コア主体で採取。コア肌やや粗い。		3.10				100					
5	120.49	5.00									4.00	50			50	70				
											4.00	70			70					
											5.00	50			50	10				
											5.00	10			10					